

本校の教育目標等・教育課程

教育理念 『生きがいのある豊かな生活の実現』

校訓 『 明るく 仲よく たくましく 』

1 教育目標

一人一人がよりよい存在として輝き、主体的に生きられるよう社会的自立を支援する。

2 運営方針

- (1) 年間指導計画・学級経営計画・個別の指導計画・個別の教育支援計画の系統性の充実、児童生徒個々のニーズに応じた教育の推進。
- (2) 授業力向上（授業改善、研究授業の積極推進）、及び指導力・専門性の向上。
- (3) 交流及び共同学習の推進と副籍（交流籍）等の積極的活用、インクルーシブな教育の推進。
- (4) キャリア教育の推進、心の教育、健康安全教育の充実による児童生徒個々の進路実現、将来の社会的自立にむけた適切な指導支援。
- (5) 学校行事、学校評議員会、学校評価の活用、積極的な情報公開等による、地域に開かれた、信頼される学校づくり。
- (6) 特別支援教育センター校として、地域支援の一層の充実と多用な支援に対応できる体制づくり。
- (7) 危機管理マニュアルの整備、充実、ケースに合わせた訓練等による適切な危機管理の徹底。
- (8) 本校舎、高等部校舎、奥中山校、二戸分教室それぞれの独自性を生かしながらの連携、運営の充実。
- (9) 会員各位の共通理解を基にしたPTA活動の充実。

3 運営の重点

- (1) 個々の児童生徒の実態を適切に捉え、保護者、関係機関との連携・共通理解を重視し、個別の指導計画、個別の教育支援計画の適切な作成を行う。
- (2) 日々の授業を充実させるために、研究授業の開催、指導案の改善、各種研修会・研究会への参加を積極的に行い、障がいに対応した専門性の向上を図る。
- (3) 各学部、地域に応じた交流及び共同学習を交流校等との共通理解の基に推進し、共に学び合う環境整備を積極的に行う。
- (4) 各学部、学年、発達段階に応じたキャリア教育、心の教育、健康安全教育を実践することにより、将来の社会的自立を促す。高等部はきめ細かな進路指導の充実に努める。
- (5) 児童生徒主体の学校行事、学校評価等を受けた改善を行うと共に、保護者に分かりやすい各種おたより、通信、ホームページの充実を行う。
- (6) 特別支援教育センター校としての役割をエリアコーディネーター等と連携して行う。様々な相談に対応できる環境整備を行う。
- (7) 各種避難訓練等（捜索・地震・火災・不審者）を行う中で、危機管理マニュアルを随時更新し、日々適切に行える体制を整える。
- (8) 奥中山校は30周年記念事業、高等部は完成年度としての運営の充実、二戸分教室は石切所小学校との連携充実、本校舎は校舎の環境整備に努める。
- (9) 本校舎、奥中山校、二戸分教室それぞれの会員のPTA活動への共通理解を促し、活動の充実に努める。

4 教育課程

(1) 小学部 A 型

領域・教科		学年					
		1	2	3	4	5	6
領域・教科を 合わせた指導	日常生活の指導	10	10	10	10	10	10
	生活単元学習	10	10	10	10	10	10
合 科	合同音楽・体育	1	3	3	3	3	3
教 科	国 語	2	2	2	2	2	2
	算 数	2	2	2	2	2	2
特別活動		1	1	1	2	2	2
自立活動		教育活動全体の中で指導する					
道 徳		教育活動全体の中で指導する					
合 計		26	28	28	29	29	29

(2) 小学部 B 型 (特別学級)

領域・教科		学年					
		1	2	3	4	5	6
領域・教科を 合わせた指導	日常生活の指導	14	14	14	14	14	14
	生活単元学習	4	4	4	4	4	4
合 科	合同音楽・体育	1	3	3	3	3	3
特別活動		1	1	1	2	2	2
自立活動		6	6	6	6	6	6
道 徳		教育活動全体の中で指導する					
合 計		26	28	28	29	29	29

(3) 訪問学級

学 部	自立活動を中心とした指導
小 学 部	週 3 回 各2時間(120分) 計6時間(360分) 年間 105 日

(4) 中学部

領域・教科		学年			特別学級
		1	2	3	I 型
領域・教科を 合わせた指 導	日常生活の指導	5	5	5	5
	生活単元学習	4	4	4	4
	作業学習	6	6	6	
教科別指導	国 語	2	2	2	
	数 学	2	2	2	
	音 楽	2	2	2	2
	美 術	2	2	2	2
特別活動		2	2	2	2
自立活動		教育活動全体の中で指導する			12
道 徳		教育活動全体の中で指導する			
総合的な学習の時間		2	2	2	2
合 計		29	29	29	29